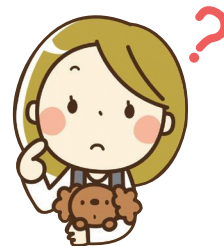




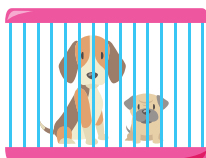
大切な家族であるペットは、飼い主が守らなければなりません。ペットの防災も人間の防災と同じく日頃から備えをしましょう。避難生活でのペットを巡るトラブルを防ぐには、普段からのしつけなどの準備も必要です。ペットの水、エサやりは避難所のルールに従って、飼い主が責任を持って世話を行いましょう。また、飼い主がやむを得ない理由で一緒に避難できないことも十分あり得ますので、その場合は誰かにペットを預かってもらう必要があります。親戚や知人、ペットホテルなど、いざという時に誰を頼りにできるのか必ず確認しておきましょう！



ペットを守るために

備えておくもの

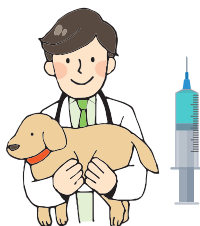
- ・ペットフード
- ・水
- ・お皿
- ・リードやハーネス
- ・ケージやキャリーバッグ
- ・ペットシート
- ・ボディシート
- ・常備薬
- ・お気に入りのおもちゃ



などリュック等にまとめ緊急時にすぐ持ち出せるようにしておきましょう。

健康管理

体調を崩すのは、ペットも同じです。病気にならないよう、ワクチン接種や、寄生虫の予防・駆除など日頃から健康管理には十分配慮しておきましょう。



日頃からのしつけ

トラブルを防ぐため日頃のしつけがとて重要で。

- ・「待て」「伏せ」など基本的なしつけをする
- ・トイレは決められた場所です
- ・攻撃的にならないようにする
- ・不必要に吠えないしつけをする

訓練をかねて、病院へ行く際などはケージやキャリーバッグに入れて慣らしておくのも良いでしょう。

ペットの身元表示

マイクロチップや基本的な情報（ペットの名前、飼い主の名前、電話番号、住所など）を書いた迷子札を付けておくことも大切です。誰でもその情報を知ることができますので、飼い主の元に帰ってくる可能性が高まります。